

『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成21年10月21日		
		作成部署	建設交通部砂防課		
事業名	大門川 通常砂防事業	地区名	福知山市大門		
概算事業費	3億円	事業期間	8ヶ年		
事業概要	砂防えん堤 2基				
目指すべき環境像	大門川は、一級河川和久川に流入する土石流危険渓流である。平成16年の台風23号では、土石流が発生し下流の市道に流出しており、今後、土砂移動を軽減することにより集落への土砂流出を防ぎ、長期的に見た景観の保全を目指す。また、地域住民の安心・安全を確保すると共に、地域の生活環境の保全に努める。				
関連する公共事業	なし				
評価項目		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価	
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	渓流が荒廃しており、山腹斜面の崩壊も発生しているため、荒廃の進行を防止し、それに伴う渓流周辺の地形の保全を図る必要がある。 平成16年台風23号では、土石流が発生し、下流の市道に流出した。	砂防えん堤を設置することで、渓流の土砂移動の抑止及び現地地形と植生の早期回復を図る。 対策工については、できるだけ渓流保全工を実施せず、地形の変更を少なくする計画を検討する。		
	地形・地質			○	4
	物質循環(土砂移動)			○	4
	野生生物・絶滅危惧種			○	3
	生態系			○	3
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	渓流に沿って人家が密集しているため、事業実施の際に発生が予測される工事車両の通行に伴う騒音・振動を抑制する必要がある。 また、建設発生材を極力リサイクルする必要がある。	工事には、原則として低騒音・低振動機械を使用する。 粉じん対策として、散水や防塵シートの使用等、日常生活に支障がないよう配慮する。 また、2つの渓流にそれぞれ砂防えん堤を設置する計画であるが、工事は渓流沿いの人家の間を通行することから、工事車両の軽減や工事期間の短縮を図るため、工程の調整を図るものとする。		
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動			○	3
	廃棄物・リサイクル			○	3
	化学物質・粉じん等			○	3
	電磁波・電波・日照				
その他					
地域個性・文化環境	景観	当渓流は、山裾の集落から下流に広がる農地を流れており、豊かな自然景観に恵まれるとともに、貴重な里山景観を残していることから、植生等の景観の変更を最小にとどめる必要がある。	現地で採取した材料を使用したり、掘削の法面の復旧に在来種を用いる等、地域の自然景観と調和したものとする。	3	
	里山の保全			○	4
	地域の文化資産				
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					